

共立印刷株式会社

(コード番号 7838)

第26期(平成18年3月期)決算説明

平成18年5月

KYORITSU PRINTING

会社名 共立印刷株式会社

(英訳名 KYORITSU PRINTING., LTD)

事業内容 総合印刷事業

設立年月 1980年8月

資本金 17億7千6百万円(2006年3月末時点)

代表者 野田 勝憲

従業員 429名(単体) / 590名(連結)

本社 東京都板橋区清水町36番1号

工場 埼玉本庄工場 **子会社** (株)インフォビジョン(印刷前工程)
埼玉児玉第一工場 共立製本(株)(加工・製本)
埼玉児玉第二工場 (株)ケーアンドエムプロセス(不動産賃貸及び管理)

支店 札幌営業所

名古屋営業所

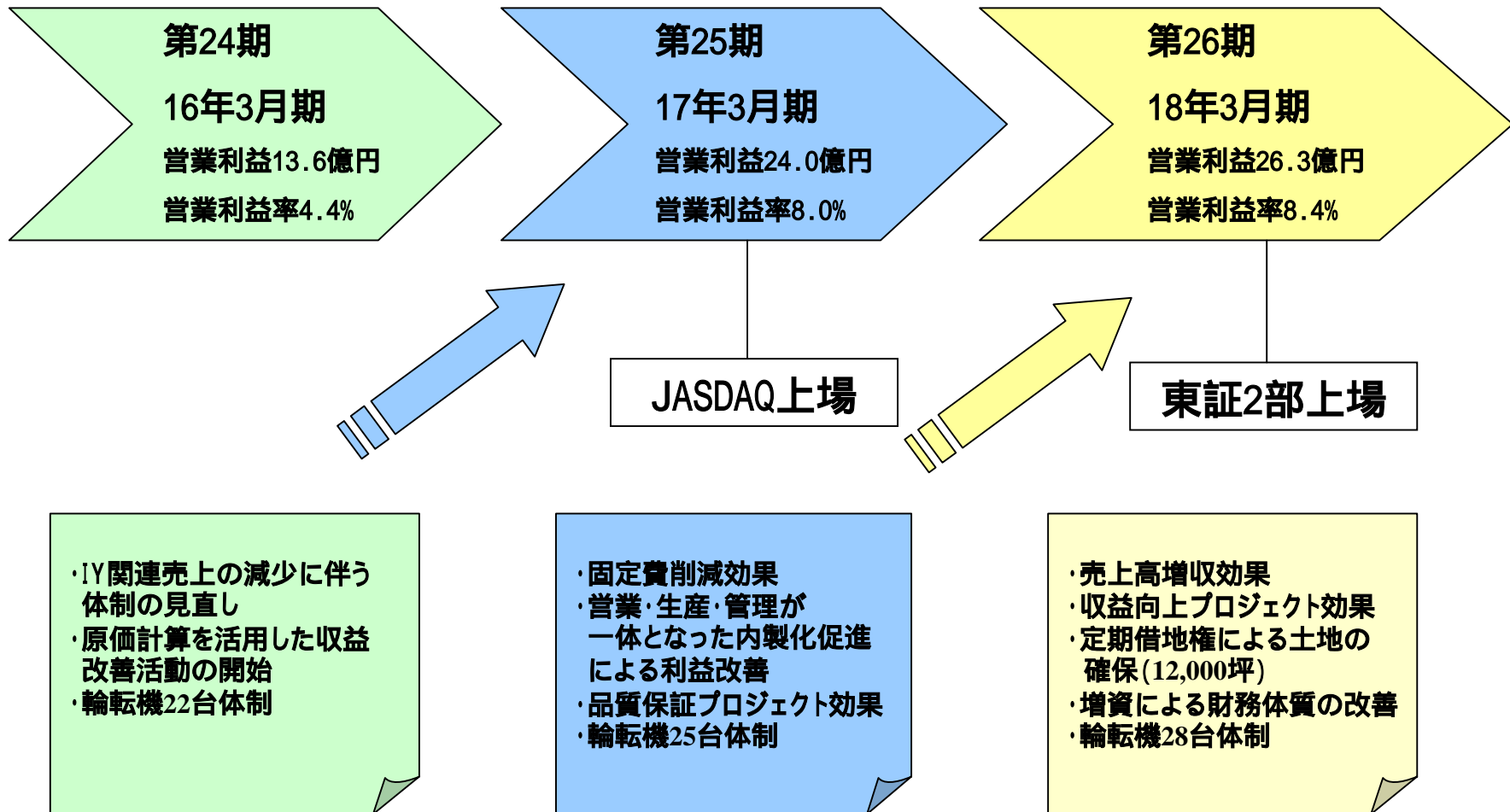
大阪営業所

第26期(18年3月期)のトピックス

収益向上プロジェクト開始

製・販一体体制の確立

更なる飛躍へ



現代は
変革する時代

共立印刷は
セルフイノベーション企業
でありたい

基本戦略

クオリティの高い品質と
スピードある対応力で
ペーパーメディアの専門性を高く追求し、
市場の信頼を確保

1.増収・増益の達成

売上4.4%増、経常利益15.0%増

2.印刷機3台新設

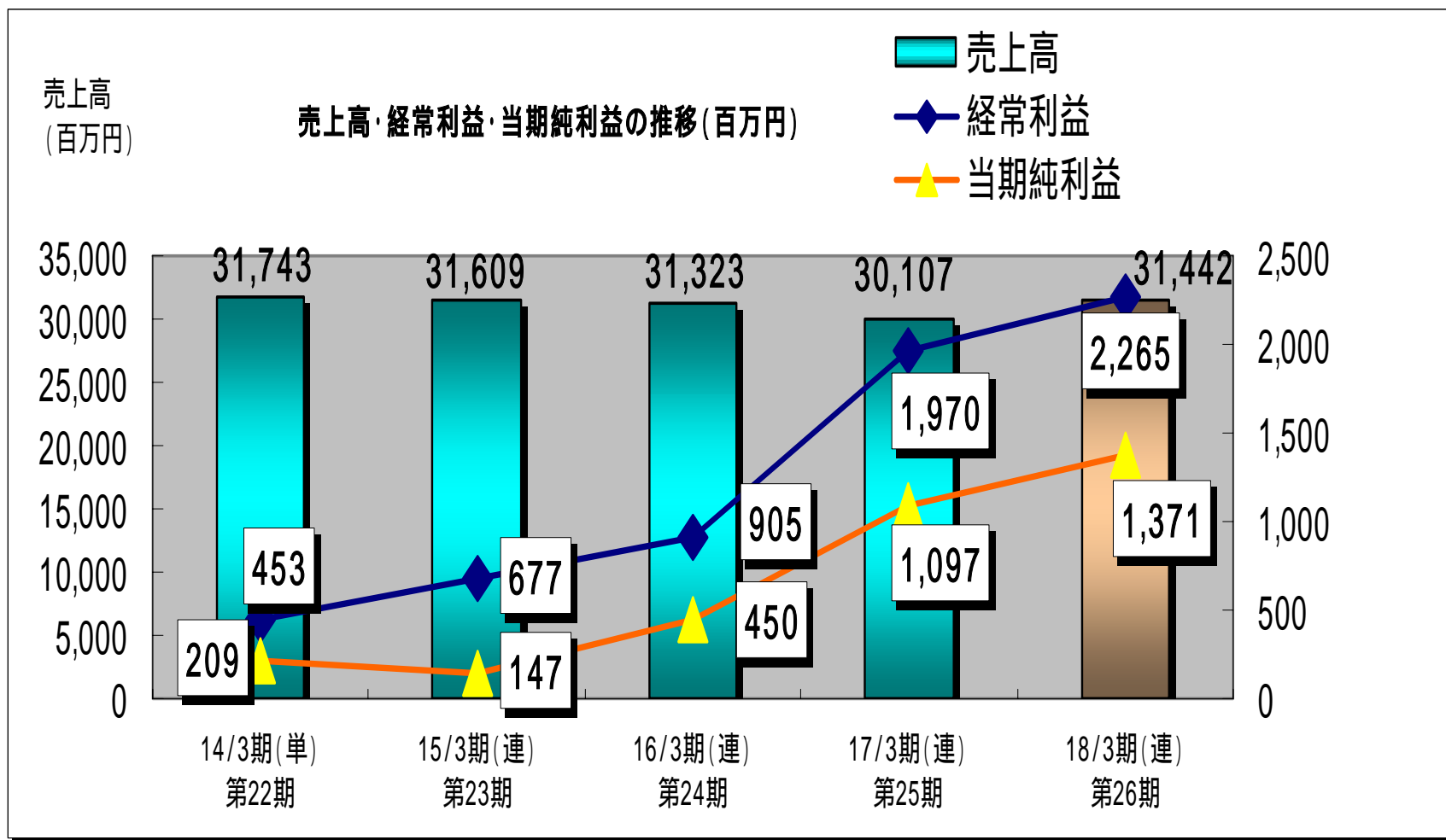
28台体制

3.新規工場増設

18年2月までに一部稼働済

4.成長戦略に沿った資本増強策の実施

9月に公募と第三者割当増資で14.6億円調達



業界全体が縮小傾向の中、大幅な収益改善を実現！

粗利益率、販管費率の達成で
営業利益率は0.4ポイントアップの8.4%に

損益計算書

(単位:百万円)

	第24期 16/3月期		第25期 17/3月期		第26期 18/3月期		前年対比	第25期 16/9月(中間)		第26期 17/9月(中間)		前年対比
	金額	比率	金額	比率	金額	比率		金額	比率	金額	比率	
売上高	31,323	100.0%	30,107	100.0%	31,442	100.0%	4.4%	14,428	100.0%	15,133	100.0%	4.9%
売上総利益	5,030	16.1%	5,703	18.9%	5,971	19.0%	4.7%	2,708	18.8%	2,988	19.7%	10.3%
販管費	3,661	11.7%	3,301	11.0%	3,336	10.6%	1.1%	1,621	11.3%	1,668	11.0%	2.9%
営業利益	1,368	4.4%	2,401	8.0%	2,634	8.4%	9.7%	1,086	7.5%	1,320	8.7%	21.5%
経常利益	905	2.9%	1,970	6.5%	2,265	7.2%	15.0%	868	6.0%	1,116	7.4%	28.4%
当期純利益	450	1.4%	1,097	3.6%	1,371	4.4%	25.0%	489	3.4%	633	4.2%	29.4%

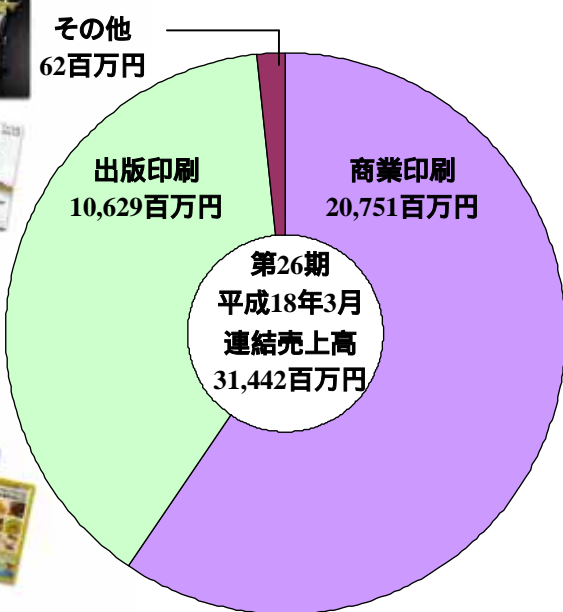
キャッシュフロー計算書

営業CF	241	-	1,950	-	2,791	-	43.1%	252	-	1,626	-	545.2%
投資CF	265	-	241	-	765	-	217.4%	76	-	251	-	230.3%
財務CF	2,076	-	2,023	-	1,875	-	-7.3%	872	-	294	-	-66.3%
期首現金等残	4,453	-	6,023	-	5,709	-	-5.2%	6,023	-	5,709	-	-5.2%
期末現金等残	6,023	-	5,709	-	5,859	-	2.6%	5,327	-	6,790	-	27.5%

主要生産品目

商業印刷

折込チラシ、通販カタログ、
各種パンフレット、POPや店舗装飾品



	第26期 (18年3月)	構成 比	第25期 (17年3月)	構成 比	前年 比
商業印刷	20,751	66.0%	18,044	59.9%	115.0%
出版印刷	10,629	33.8%	12,031	40.0%	88.4%
その他	62	0.2%	31	0.1%	195.7%
合計	31,442	100.0%	30,107	100.0%	104.4%

出版印刷

書籍、週刊及び月刊雑誌、定期刊行物
住宅、求人、車、広告など情報誌



トピックス 売上増減要因

- **商業印刷: 前年対比27.0億円増(15.0%増)**

- B判系列であるチラシ、A判系列である通販カタログ・携帯電話取扱説明書等当社の生産設備にマッチした効率的な営業活動による増加

トピックス 売上増減要因

●出版印刷:前年対比14.0億円減(11.6%減)

- 情報出版誌(雇用情報誌、住宅情報誌、中古車情報誌、タウン誌等)のフリーペーパー化による増加 5億円
- 従来の市販情報雑誌等の減少 7.5億円
- 用紙について顧客よりの無償支給紙へと変更した事による売上高減少額 10億円

売上原価・販売管理費について

当社グループは生産体制の充実・拡充を通じた内製化の促進により売上増加に伴う外注加工費の増加を最小限とする体制を押し進めております。

その結果、

・売上高前年対比	13.3億円増(4.4%増)
・売上原価前年対比	10.6億円増(4.4%増)
・販売費及び一般管理費前年比	0.3億円増(1.1%増)
・営業利益前年比	2.3億円増(9.7%増)

総資産利益率の改善
有利子負債の削減

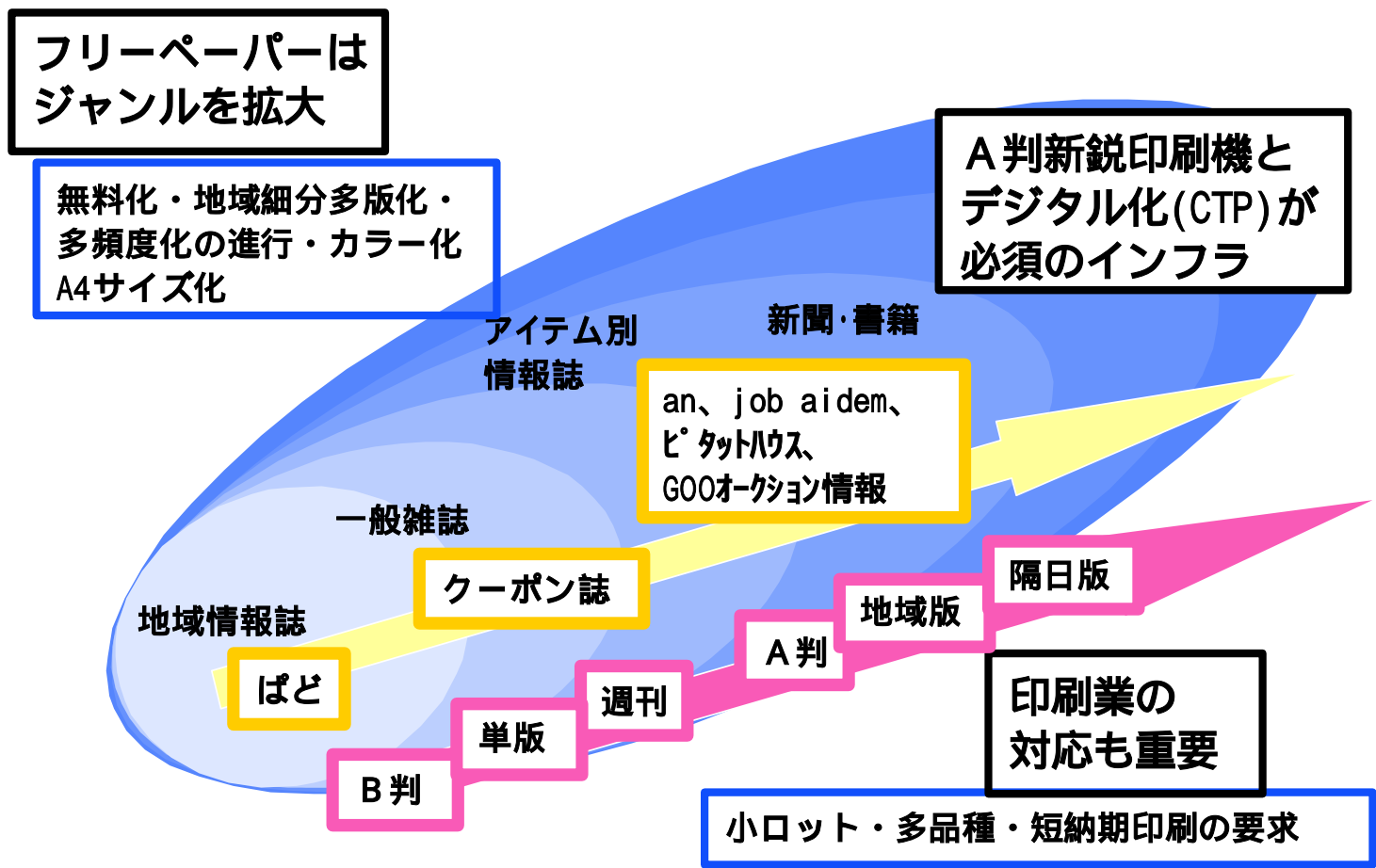
(単位:百万円)

	第24期 16/3月期		第25期 17/3月期		第26期 18/3月期	
	金額	比率	金額	比率	金額	比率
流動資産	14,786	46.7%	15,451	49.2%	14,808	48.3%
固定資産	16,871	53.3%	15,975	50.8%	15,819	51.7%
総資産	31,658	100.0%	31,426	100.0%	30,628	100.0%
流動負債	15,539	49.1%	14,660	46.7%	14,008	45.7%
固定負債	12,720	40.2%	11,789	37.5%	8,998	29.4%
負債合計	28,259	89.3%	26,450	84.2%	23,006	75.1%
株主資本	3,398	10.7%	4,976	15.8%	7,621	24.9%
有利子負債	15,114	47.7%	13,423	42.7%	11,207	36.6%
株主資本当期純利益率	14.3%	-	26.2%	-	21.8%	-
総資産当期純利益率	1.5%	-	3.5%	-	4.4%	-
債務償還年数	-	-	7.7年	-	4.4年	-

トピックス

- 17年9月公募増資及び
第三者割当増資の実施
 - ・資本金 7億3千5百万円増
 - ・資本剰余金 7億3千0百万円増
 合計 14億6千5百万円増
- 工場設備投資の実施
 - ・印刷関連 5億9千6百万円
 - ・製本関連 2億1千5百万円
 合計 8億1千1百万円
- 有利子負債の削減
22億1千6百万円
- 債務償還年数の改善
 - ・17年3月期 7.7年
 - ・18年3月期 4.4年

フリーペーパー化の大きな流れが、印刷会社にも大きな影響を！



営業戦略

- ◆顧客ニーズを吸収し、生産設備とのマッチングを図り、利益最大化を追求

生産戦略

- ◆小ロット、多品種、短納期、高品質、低コストの生産を可能にする生産体制の構築

共立印刷(株):

- ◆埼玉県本庄・児玉エリアに印刷工場を配置し輪転機28台を集約、生産の集中化
- ◆市場ニーズに沿った利益最大化を実現する生産体制の整備
- ◆全国展開のネットワークを利用した提携印刷会社への分散化による短納期化対応
- ◆デジタル化に対応した生産体制の構築による短納期、高品質、低コストの実現
- ◆デジタル化に対応した情報システムインフラの拡充

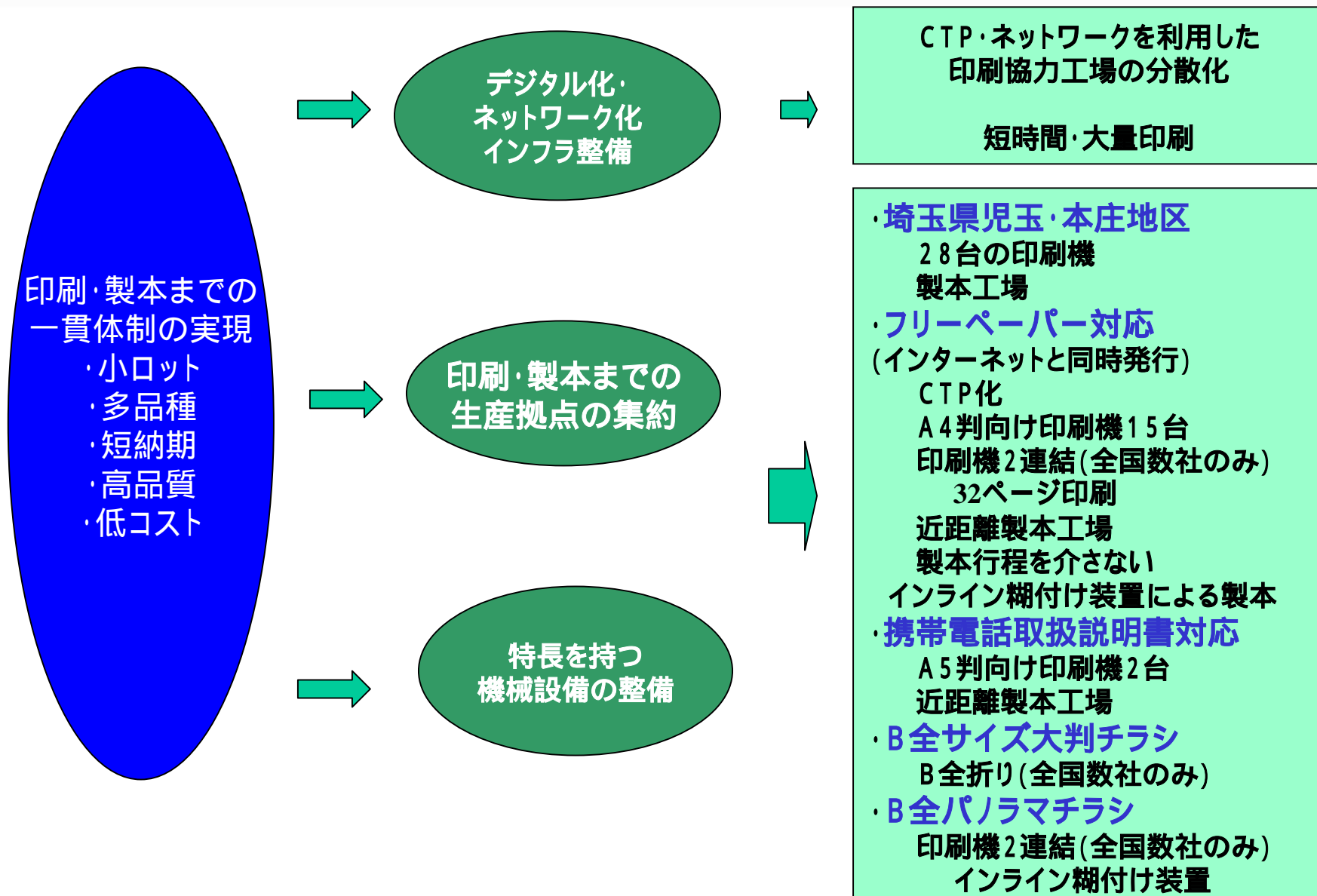
(株)インフォビジョン:

- ◆印刷前工程(プリプレス)のデジタル化による短納期、高品質、低コストの実現

共立製本(株):

- ◆印刷工場のある児玉エリアに製本工場を配置し生産ラインの集約化による、印刷から製本までの一貫した生産体制を整備し、短納期、低コストの実現

差別化戦略(営業・生産戦略具体例)



製・販一体化による生産能力のフル稼働を目指し、利益の最大化を図る

【活動戦略】

1～2ヶ月先の受注状況と生産予定を営業と製造で情報共有し、工場稼働率のアップを図る目的で、需要と供給の見通しを行い、受注不足による操業度の低下、過大受注による利益率の低下を防ぎ、利益の最大化を目指す。

【プロジェクトの目的】

生産能力のフル稼働化

- ・受注の過不足を常に念頭においた営業戦略の展開
- ・個別受注原価を基にした、内製化・外製化の決定
- ・市況及び受注状況を基にした、設備投資計画

利益の最大化

- ・営業活動先の選定
- ・個別受注原価を基にした、内製化・外製化の決定
- ・市況及び受注状況を基にした、設備投資計画

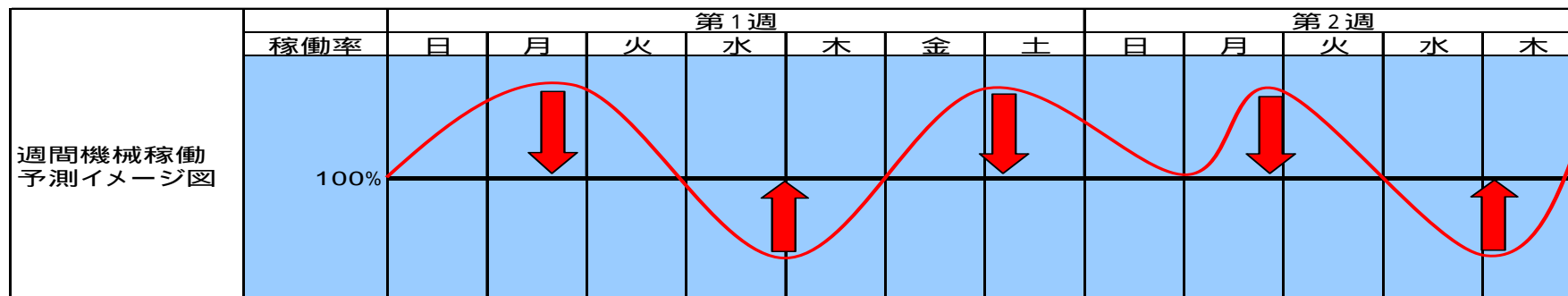
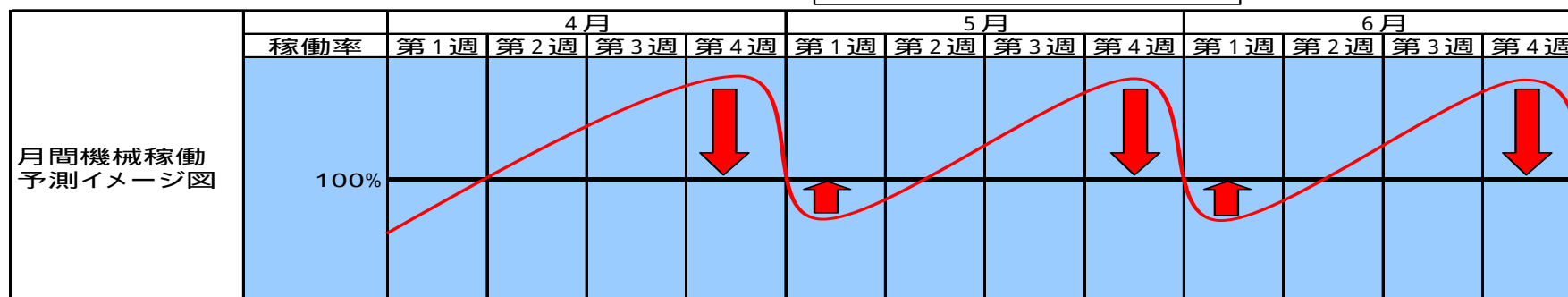
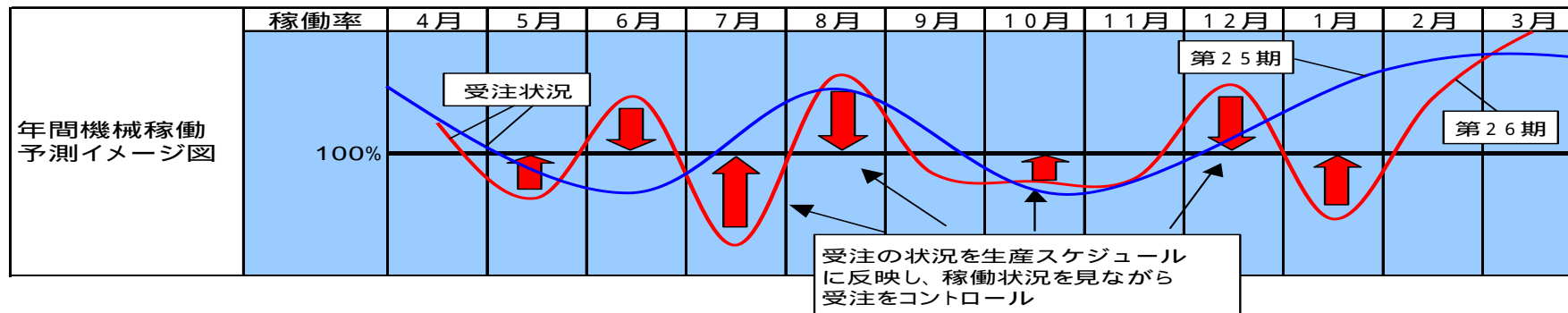


経営戦力と営業戦略の共有

- ・ビッククライアント依存型から広く主要クライアントの創造を行う。
- ・印刷・製本それぞれの生産機能を最大化できる受注の創造からの利益獲得

工場稼働プロジェクト2

工場稼働プロジェクト



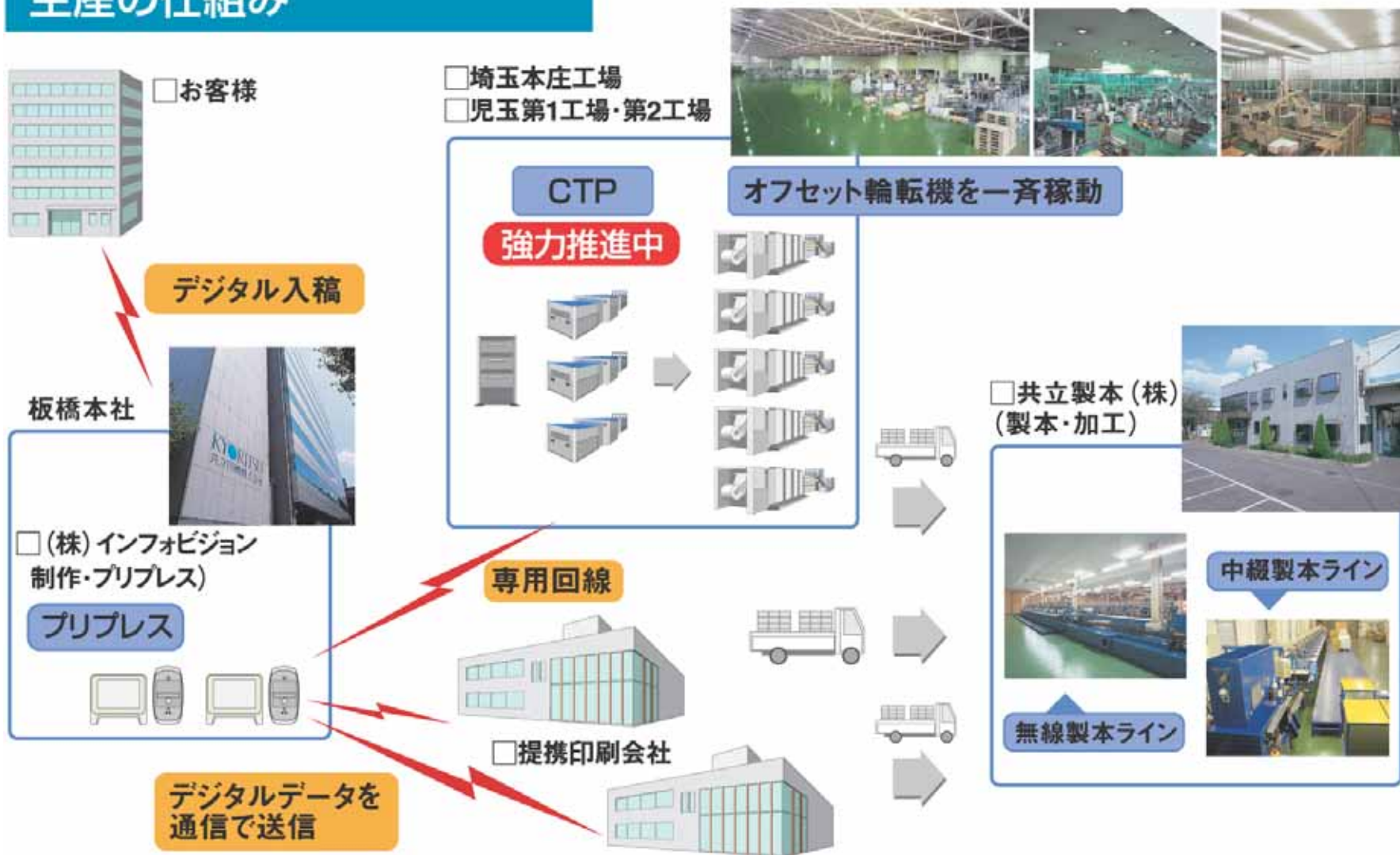
生産設備の集中と分散

- 自社印刷・製本工場を首都圏（埼玉県本庄児玉地区）に集約。
- 提携印刷会社とデジタルネットワークを結び、強力な生産体制を構築。



「スピード」による価値の創造

生産の仕組み



紙が入荷 翌日製品出荷可能な工場



第27期(19年3月期)の業績予想1

営業利益率8.6%を目標

	第25期 17/3月期		第26期 18/3月期		第27期 19/3月期(予)	
売上高	30,107	100.0%	31,442	100.0%	33,000	100.0%
売上総利益	5,703	18.9%	5,971	19.0%	6,474	19.6%
販管費	3,301	11.0%	3,336	10.6%	3,623	11.0%
営業利益	2,401	8.0%	2,634	8.4%	2,850	8.6%
経常利益	1,970	6.5%	2,265	7.2%	2,470	7.5%
当期純利益	1,097	3.6%	1,371	4.4%	1,420	4.3%
減価償却費	1,153	3.8%	1,128	3.6%	1,147	3.5%
支払利息	414	1.4%	350	1.1%	350	1.1%
E B I T D A	3,537	11.7%	3,743	11.9%	3,967	12.0%
設備投資額	421	-	811	-	800	-

第27期(19年3月期)の業績予想2

1株当たり情報

	第25期 17/3月期	第26期 18/3月期	第27期 19/3月期(予)
一株当たり純資産	285.85	198.82	224.13
一株当たり純利益	65.34	36.67	37.19
一株当たり配当額	10.00	12.00	12.00
配当性向	15.3%	32.7%	32.3%
期中平均株式数	16,493,846株	36,564,615株	38,180,000株

主要な取組課題

次期においても引き続き、
印刷・製本の生産体制の拡充
デジタルフローの充実
収益向上プロジェクト
品質保証プロジェクト
工場稼働プロジェクト
工場原価削減プロジェクト

等の活動を製造部門、営業部門及び管理部門が一体となり展開し、営業活動の効率化、品質の向上及び生産効率の改善に積極的に取り組んでまいります。

第27期(平成19年3月期)予想

連結売上高	330.0億円
経常利益	24.7億円
当期純利益	14.2億円

その他

印刷から製本までの一貫体制充実のため、平成18年4月に約6億円にて埼玉本庄工場の隣接地に**17,933.76㎡の土地**の取得契約を締結いたしました。今後工場の集約化計画を立案し収益の更なる増益を目指す所存です。

売上原価・販売管理費について

当社グループは生産体制の充実・拡充を通じた内製化の促進により売上増加に伴う外注加工費の増加を最小限とする体制を推し進めております。

その結果、

・売上高前年対比	15.5億円増(5.0%増)
・売上原価前年対比	10.5億円増(4.1%増)
・販売費及び一般管理費前年比	2.8億円増(8.6%増)
・営業利益前年比	2.1億円増(8.2%増)

21世紀はスピード時代！

共立印刷は「集中」と「分散」による「スピード」を武器に、
時代の変化に迅速に対応する
印刷メディアにおける
高い専門性と創造性豊かな
企業を目指します。

将来予測について

本資料のうち、業績見通し等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基き算定しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と大きく異なる結果となりうる事を、ご承知おき下さい。

問い合わせ先： 常務執行役員 財務本部長 小野 道夫

TEL : 03-5248-7801

FAX : 03-5248-5570

E-mail : mono@kyoritsu-printing.co.jp

URL : <http://www.kyoritsu-printing.co.jp/>